

県政活動報告

発行者/皆川いわお
〒400-0031 甲府市丸の内3-6-2
TEL 055-222-5313
FAX 055-233-3301
E-mail: minagawa@nns.ne.jp
<http://www.nns.ne.jp/pri/minagawa/>
YAHOO JAPAN 検索「皆川いわお」

観光と地域経済の活性化を

6月定例県議会で皆川いわお県議

観光客のニーズに対応し、魅力ある、受け入れ環境を整えたい

六月定例県議会で皆川いわお県議は、自民党誠心会を代表して登壇。はじめに議会の役割は「県民の要望」を反映させること、論議を「県民にわかりやすく」届けることと認識を示し、質問に入った。オリンピック・パラリンピックを契機にしたフランスとの交流、甲府城周辺整備、観光と地域経済の活性化をはじめ、質問は県政全般にわたった。

フランスチームの合宿地 地域に根付いた交流を 皆川いわお県議の質問

山梨県では事前合宿の誘致が十市町村で決定している。そのうち九市町村がフランスチームの合宿地。本県はフランスとの姉妹都市の数が全国一多いが、地域に根付いた交流を進展させ、活性化につなげたい。

また、聖火リレーは県民に夢や希望、誇りを与えてくれるイベントだ。どのように取り組んでいくのか。

知事答弁

在日フランス商工会議所などと、交流を深めた。今後は事前合宿を契機とした市町村との交流を支援していく。

聖火リレーが本県を通過するのは二日間。検討委員会を設置し、ランナーの選定、ルート調査を実施する。

総合競技場 本年度中に基本計画

皆川いわお県議の質問

総合競技場は巨額な建設費が必要だ。その必要性や意義

について、県民への説明責任を果たし、県民全体の合意形成を図るべきだ。総合競技場基本計画の現在の検討状況、県民理解をどのように得ていくのか。

知事答弁

子どもからお年寄りまで誰もが利用できる「県民みんなの球技場」目指し検討を進めている。本年度中に基本計画を策定していく。県内各地において説明会を開催し、理解を得られるようにしたい。

「山の日の」全国大会 来年山梨で開催

皆川いわお県議の質問

県は国民の祝日として「山の日」を制定するよう、全国に先駆けて国に働きかけ、県議会でも制定を求めてきた。「山の日」についてどのような取り組みを行なってきたのか。「山の日」の祝日化を記念して、全国大会が明年、山梨で開催されることになった。甲府開府五百年にもあたり、県都甲府の魅力年全国に発信したいが、どのような大会にしていくのか。

知事答弁

「山の日」が祝日になって以降、宿泊型のトレーニングツアー等のイベントを開催してきた。全国大会では山や森林、良質な水の魅力に加え、

FSC森林管理認定の取得、森林スポーツ百選の制定などを広く情報発信したい。

公共事業予算の内容 社会資本の整備に

皆川いわお県議の質問

建設業においては、待遇改善を含めた労働環境の整備による若手技術者や技能者の育成、定着などの課題がある。災害対応等に必要な人員や資機材を確保し、会社を運営、維持していくためには、公共事業の受注状況が、会社の経営を大きく左右する。補正予算による公共事業予算の執行とその効果についてうかがいたい。

知事答弁

外国人観光客に山梨の魅力をよりわかりやすく伝えるため、県のホームページや富士の国やまなし観光ネットを全国に先駆け、八カ国語対応にするとともに、通訳ガイドのできる人材育成に取り組んでいる。今後はオール山梨で外国人観光客のニーズに応えたい。

甲府城と周辺整備 水辺空間の創出を

皆川いわお県議の質問

甲府城南側のお堀沿いエリアの整備にあたっては、水辺を活かしたまちづくりが重要だ。実施計画は策定されたが、甲府税務署跡地の払い下げが大幅に遅れている。今後、具体的にどのように進めていくのか。

知事答弁

整備に要する期間の短縮、水辺空間の創出を求める意見が多い。今後は事業費の確保、お堀の復元、税務署跡地の取得などに取り組み、お城を中心に多様な交流と賑わいが生まれるように進めていく。

六月定例県議会の代表質問で「県民の要望を具体化したい」と皆川いわお県議

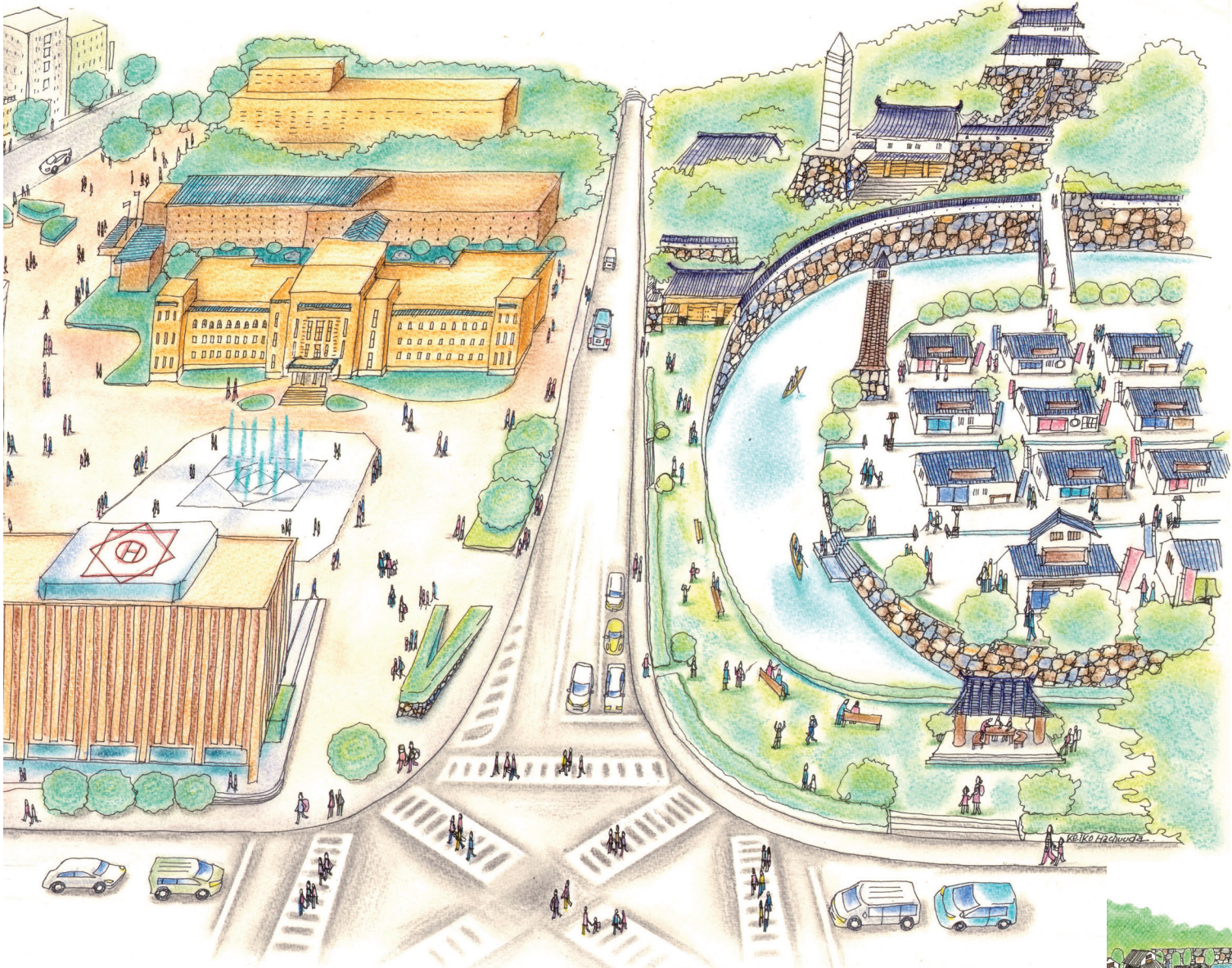


甲府城は観光立県やまなしの拠点

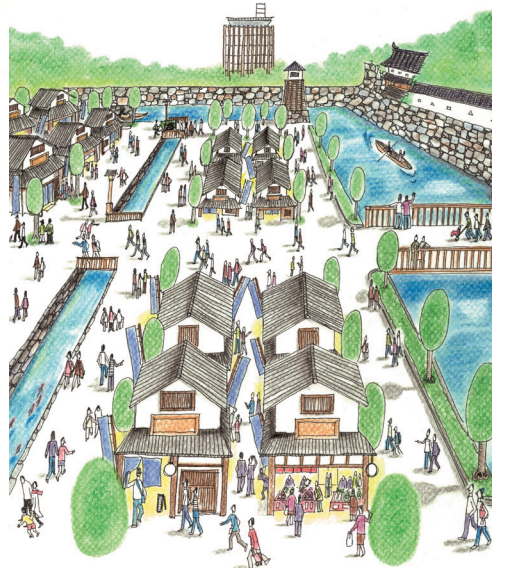
皆川いわお県議

「水辺を活かしたまちづくり」

甲府駅南口駅前広場、県庁のオープン化、甲府城南側お堀沿いエリア、中心街と結ぶ散策路。魅力ある歩行者回遊ネットワークが整備されている。交流が広がり、賑わいが生まれていく。



県庁前スクランブル交差点より



国民体育大会の招致と 屋内五十メートルプール

皆川いわお県議の質問

国民体育大会の招致は本県のスポーツ振興はもとより、未来を担う子供たちに夢や希望を与え、心身ともに健康で豊かな県民生活、活力と潤いのある地域社会の実現にも意義がある。

国民体育大会の招致についてどのように考えているのか、また、屋内五十メートルプールをどのように整備していくのか。

知事答弁

国民体育大会を招致する際は開催の概ね十年前に、日本スポーツ協会と文部科学省に要望書を提出することになっている。本県の開催は平成四十三年の第八六回大会を目指したい。

屋内五十メートルプールについては、持続可能な整備や運営方法について、国体の開催を見据え、可能な限り早期に検討を進めていく。

再質問

建設業の労働環境整備 公共事業の受注状況

皆川いわお県議の再質問

公共事業予算についてだが、三百億円を超える額が今年度に繰り越されている。工事の執行が遅れている、業者に工事費が支払われていないのか、理由は何か。

県土整備部長答弁

三百億円の繰り越しのうち、

多くは年度をまたぐ工期のもの、すでに契約済みのものだ。残りの分についても準備が整い次第、工事契約ができるよう、本年度当初予算と一体的にその執行に努めていく。



再質問をする皆川いわお県議

甲府城の天守閣整備 十万人をこえる要請

皆川いわお県議の再質問

甲府城の保存と活用についてだが、建造物の復元整備については国指定になっても県指定のままでも同じで、特段の差異はないとのことだが、規制が強まるという心配はまったくないのか。

青森県八戸の根城は国指定の城址だが、天守閣の資料がないままに復元した。これは市民から強い復元要請を受けた市長が、文化庁からの財政支援を一切受けず、市の予算と市民の募金で復元した。復元整備は首長の決断にかかっている。甲府城の天守閣整備は十万人をこえる強い要請がある。知事には決断をしいただきたい。

教育長答弁

天守閣整備については、この場で答えることは困難だ。八戸の件については、その詳細について把握をしていない。

教育長答弁
甲府城跡における建造物の復元整備については、歴史的な価値を損なわないためにも国の基準に基づき、また、文化庁との協議を行なうなど、国史跡の場合と同等の水準で整備を進めてきたことから、指定の有無によって特段の差異は生じないものと認識している。
これらを総合的に勘案し、国の史跡指定を目指していきたい。

観光立県の中心的拠点 甲府城の保存と活用

皆川いわお県議の質問

甲府城を観光立県やまなしの中心的拠点として位置づけるうえでも、国史跡化を進めるべきとの議論がある。甲府城を将来にわたって守りつつ、周辺整備を着実に進め、さらにはまちづくりに活かしていくためには、有効な手段だ。

一方、国指定史跡となると、甲府城の復元整備に対する規制が強まることを懸念している。県では、甲府城をどのように保存、活用、整備していくのか。